

CASBEE-建築(新築)2016年版
 福知山市普住宅つじが丘団地ほか建替事業に伴う建設工事 2期

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					3.3
Q1 室内環境			0.40		3.9
1 音環境		-	0.15	2.7	1.00
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.50
1.2 遮音		-	-	2.4	0.50
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20
1.3 吸音		-	-	-	-
2 温熱環境		-	0.35	5.0	1.00
2.1 室温制御		-	-	5.0	1.00
1 室温	日本住宅性能表示基準5-1における等級4を超える水準	-	-	-	-
2 外皮性能		-	-	5.0	1.00
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-
2.2 湿度制御		-	-	-	-
2.3 空調方式		-	-	-	-
3 光・視環境		-	0.25	3.2	1.00
3.1 昼光利用		-	-	2.5	0.50
1 昼光率		-	-	2.0	0.50
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30
3 昼光利用設備		-	-	3.0	0.20
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50
1 昼光制御	カーテンと庇を組み合わせてグレアを制御	-	-	4.0	1.00
3.3 照度		-	-	-	-
3.4 照明制御		-	-	-	-
4 空気質環境		-	0.25	3.7	1.00
4.1 発生源対策		-	-	4.0	0.63
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している	-	-	4.0	1.00
4.2 換気		-	-	3.3	0.38
1 換気量		-	-	3.0	0.33
2 自然換気性能	居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保	-	-	4.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33
4.3 運用管理		-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-
2 喫煙の制御		-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-
1 機能性		2.4	0.40	2.0	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60
1 広さ・収納性		-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準3.劣化の軽減に関する事において等級3	5.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な上位3種類の2種以上にBを使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-

3	対応性・更新性		3.2	0.30	3.0	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり						
	1 階高のゆとり				3.0	0.50	
	2 空間の形状・自由さ				3.0	0.60	
	3.2 荷重のゆとり				3.0	0.40	
	3.3 設備の更新性		3.2	1.00		0.50	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	構造材を傷めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)			0.30			3.2
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮	建物の色彩等のまちなみへの調和、植栽による良好な景観を形成	4.0	0.40			4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30			3.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	業会所前に広場を整備し、地域の活動上のアメニティ向上に貢献	4.0	0.50			
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR	建築物の環境負荷低減性						3.9
LR1	エネルギー			0.40			4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	断熱により外皮熱負荷を抑制	5.0	0.20			5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.72	5.0	0.50			5.0
4	効率的運用		3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価						
	4.1 モニタリング						
	4.2 運用管理体制						
	集合住宅の評価		3.0	1.00			
	4.1 モニタリング		3.0	0.50			
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
LR2	資源(マテリアル)			0.30			3.6
1	水資源保護		3.6	0.20			3.6
	1.1 節水		3.0	0.40			
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		4.0	0.60			
	1 雨水利用システム導入の有無	雨水貯留タンクを設置	4.0	1.00			
	2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-			
2	非再生性資源の使用量削減		3.9	0.60			3.9
	2.1 材料使用量の削減	高強度せん断補強筋等を採用	4.0	0.10			
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	共用廊下:ビニル床シート、ベンチ、樹名板	5.0	0.20			
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10			
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	「躯体+木下地+LGS下地+仕上材」により分別が容易としている	5.0	0.20			
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
	1 消火剤		-	-			
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00			
	3 冷媒		-	-			
LR3	敷地外環境			0.30			3.5
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量を抑制している	4.2	0.33			4.2
2	地域環境への配慮		3.5	0.33			3.5
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
	2.2 温熱環境悪化の改善	流体数値シミュレーションを行って影響を予測	4.0	0.50			
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	周辺環境への配慮		2.8	0.33			2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
	1 騒音		3.0	1.00			
	2 振動		-	-			
	3 悪臭		-	-			
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		2.3	0.40			
	1 風害の抑制		2.0	0.70			
	2 砂塵の抑制		-	-			
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30			
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20			
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明は不採用	4.0	0.70			
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

CASBEE-建築(新築)2016年版

福知山市営住宅つつじが丘団地ほか建替事業に伴う建設工事 2期

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	4.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		-	3.0	-	1.0	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	3.0		-	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	14.0		1.0	-	-	3.0	3.0	-	-	2.0	3.0	2.0	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 風外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標		窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		U値(W/m2K)		窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -	
2.1.3 外皮性能		窓システムU値 3.0		外皮UA値 0.6 ηAC 1.7 ηAH 0.8	
3.1.1 昼光率		昼光率 0.0%		自然換気有効開口面積率 0.0%	
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率 0.0%			
Q2 サービス性能		執務スペース 0㎡/人		病床 0㎡/床 シングル 0㎡ ツイン 0㎡	
1.1.1 広さ・収納性		コンセント容量 0.0 VA/㎡		天井高 0 m	
1.1.2 高度情報通信設備対応		リフレッシュスペース 0.5%		レストスペース 2.0%	
1.2.1 広さ感・景観		想定耐用年数 0 年		想定必要間隔 0 年	
1.2.2 リフレッシュスペース		想定耐用年数 0 年		想定必要間隔 0 年	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定耐用年数 0 年		想定必要間隔 0 年	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定耐用年数 0 年		想定必要間隔 0 年	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定耐用年数 0 年		想定必要間隔 0 年	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		階高 3.5 m		盤長さ比率 0.0%	
3.1.1 階高のゆとり		階高 3.5 m		床荷重 2900 N/m2	
3.1.2 空間の形状・自由さ		外構緑化指数 30%		建物緑化指数 0%	
3.2 荷重のゆとり		空地率 87%		水平投影面積率 8% 地表面対策面積率 30% 舗装面積率 60%	
Q3 室外環境(敷地内)		BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級4を超える 相当			
1 生物資源の保全と創出		自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡		採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%	
3.2 敷地内温熱環境の向上		通風を満たす教室数 0.0%		通風を満たす住戸数 0.0%	
LR1 エネルギー		BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 - 太陽光 0kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW			
1 建物外皮の熱負荷抑制		雨水利用率 0.0%			
2 自然エネルギー利用		特定調達品目 - エコマーク商品 ビニル床シート、自溶体建築塗料特定品目等 -			
3 設備システムの高効率化		使用比率 0.0%			
LR2 資源・マテリアル		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)			
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)			
3.2.1 消火剤					
3.2.2 発泡剤(断熱材等)					
3.2.3 冷媒					
LR3 敷地外環境		見付面積比 106% 隣棟間隔指標Rw 3.68			
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策面積率 50.0%		屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!	
		見付面積Sb 30㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 30 m		基準高さHb 30 m	
		緑地 1.075㎡ 水面 ㎡		保水性対策面 505㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡	